



防災フェス2024 in イオンモールむさし村山に参加



自衛隊東京地方協力本部立川出張所（所長 星2陸尉）は9月28日、イオンモールむさし村山において防災フェスに参加し、自衛官募集相談員と連携して広報活動を行った。また、第一後方支援連隊（練馬）から支援を受けて実施した浄水セット及び1/2トラックの装備品展示が会場を賑わせた。

会場には、武蔵村山市役所を始め消防や警察、病院等も車両や応急救護訓練等を展示し、来場者に防災を考えるきっかけを提供していた。

立川所ブースでは、能登半島地震に係る災害派遣活動パネル展示や東日本大震災の災害派遣活動記録を放映し、自衛隊の任務の一つである「災害派遣」をPRした。

今回の協力者である募集相談員は、予備自衛官でもあり、来場者に訓練時の体験を紹介すると「災害等で困っている人達の役に立ちたい。」「私も挑戦してみたい。」と目を輝かせて聞き入る来場者の方々もいた。

装備品展示では、浄水セットが河川の水等をろ過して生活用水や飲用水を作る過程も展示され、装備品の性能に驚く姿が印象的だった。

立川出張所は、今後も地域に根ざしたイベントに参加し関係部隊・団体等とも連携を密にして、自衛隊の活動に対する理解と関心を高めていくとしている。



地域に根ざしたイベント昭島矯正展



自衛隊東京地方協力本部立川出張所（所長 星2陸尉）は9月29日、矯正研修所敷地内で開催された第4回昭島矯正展に参加した。

このイベントは、法務省が主催する「社会を明るくする運動」の一環として行われたもので、今回は、第一後方支援連隊（練馬）から支援を受けて1/2トラックが装備品展示として会場の一角を飾った。

立川所のブースでは来場者がVRゴーグルを体験する驚きと笑いの声が終始響き、迷彩服を試着して、背嚢を背負ってみたり、防弾チョッキを着用して記念撮影したりと幅広い年齢層の興味を引いたようだった。また、来場者からは普段の生活や、演習場での訓練の過酷さなどについての質問が後を絶たず、質問に答えた隊員へは、「訓練頑張ってください！」と励ましの言葉がかけられていた。さらに、視察に訪れた市長から「いつもありがとう」と広報官を労う言葉をいただいた。

イベントの終盤は雨となってしまったが、何度も車両に乗る子やVRゴーグルに並ぶ子供達に広報官も部隊の隊員も目を細めて、丁寧に対応した。立川出張所は、今後も地域に根ざしたイベントに参加し関係部隊等とも連携を密にして、自衛隊の活動に対する理解と関心を高めていくとしている。

